

数 学

注 意

- 1 問題は から までで、5 ページにわたって印刷してあります。
また、解答用紙は両面に印刷してあります。
- 2 検査時間は 50 分で、終わりは午前 11 時 00 分です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 計算が必要なときは、この問題用紙の余白を利用しなさい。
- 5 答えは全て解答用紙に HB 又は B の鉛筆（シャープペンシルも可）を使って
明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 6 答えに分数が含まれるときは、それ以上約分できない形で表しなさい。
例えば、 $\frac{6}{8}$ と答えるのではなく、 $\frac{3}{4}$ と答えます。
- 7 答えに根号が含まれるときは、根号の中を最も小さい自然数にしなさい。
例えば、 $3\sqrt{8}$ と答えるのではなく、 $6\sqrt{2}$ と答えます。
- 8 答えを選択する問題については、各問の ア・イ・ウ・エ のうちから、最も
適切なものをそれぞれ 1 つずつ選んで、その記号の の中を正確に塗り
つぶしなさい。
- 9 の中の数字を答える問題については、「あ、い、う、…」に当てはまる
数字を、下の〔例〕のように、0 から 9 までの数字のうちから、それぞれ 1 つずつ
選んで、その数字の の中を正確に塗りつぶしなさい。
- 10 答えを記述する問題（答えを選択する問題、 の中の数字を答える問題
以外のもの）については、解答用紙の決められた欄からはみ出さないように
書きなさい。
- 11 答えを直すときは、きれいに消してから、消しくずを残さないようにして、
新しい答えを書きなさい。
- 12 受検番号を解答用紙の表面と裏面の決められた欄に書き、表面については、
その数字の の中を正確に塗りつぶしなさい。
- 13 解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

〔例〕 に 12 と答えるとき

あ	<input type="radio"/> 0	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9
い	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9

問題は1 ページからです。

1 次の各問に答えよ。

〔問1〕 $5 + \left(-\frac{4}{3}\right) \times 6$ を計算せよ。

〔問2〕 $-x + 9y - (8x + y)$ を計算せよ。

〔問3〕 $(\sqrt{6} + 1)^2$ を計算せよ。

〔問4〕 一次方程式 $4x + 7 = 5x + 2$ を解け。

〔問5〕 連立方程式 $\begin{cases} 3x - y = 6 \\ x - 2y = -8 \end{cases}$ を解け。

〔問6〕 二次方程式 $x^2 + 7x + 9 = 0$ を解け。

〔問7〕 1 から 6 までの目の出る大小 1 つずつのさいころを同時に 1 回投げるとき、
出る目の数の積が 6 の倍数になる確率を求めよ。

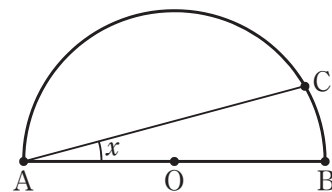
ただし、大小 2 つのさいころはともに、1 から 6 までのどの目が出ることも
同様に確からしいものとする。

〔問8〕 次の の中の「あ」「い」に当てはまる数字をそれぞれ答えよ。

右の図 1 で、点 C は線分 AB を直径とする 図 1
半円 O の \widehat{AB} 上にある点で、2 点 A、B に
一致しない。

点 A と点 C を結ぶ。

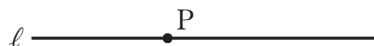
$\widehat{BC} = \frac{1}{6} \widehat{AB}$ のとき、 x で示した
 $\angle CAB$ の大きさは、 度である。



〔問9〕 右の図 2 で、点 P は直線 l 上の点である。 図 2

点 P を通り、 l と垂直に交わる直線を、
定規とコンパスを用いて作図せよ。

ただし、作図に用いた線は消さないでおくこと。



2 ある中学校で、Sさんが作った問題をみんなで考えた。

次の各問に答えよ。

[Sさんが作った問題]

連続する4つの自然数を、小さい方から順に a, b, c, d とし、

$$P = a \times b$$

$$Q = c \times d$$

とする。

a の値が10以下のとき、 $Q - P$ の値が3の倍数となる場合は、何通りあるか考えてみよう。

[問1] 次の の中の「う」に当てはまる数字を答えよ。

[Sさんが作った問題] で、 a の値が10以下のとき、 $Q - P$ の値が3の倍数となるのは、全部で 通りである。

先生は、[Sさんが作った問題] をもとにして、次の問題を作った。

[先生が作った問題]

連続する6つの自然数において、小さい方から順に2つの自然数の積をP、大きい方から順に2つの自然数の積をQ、中央の2つの自然数の和をRとする。

$Q - P$ の値とRの値との関係について考える。

例えば、連続する6つの自然数の最も小さい数が3のとき、連続する6つの自然数は、3, 4, 5, 6, 7, 8となる。このとき、 $Q - P = 56 - 12 = 44$ 、 $R = 5 + 6 = 11$ となり、 $Q - P$ の値は、Rの値の4倍となる。

また、連続する6つの自然数の最も小さい数が4のとき、連続する6つの自然数は、4, 5, 6, 7, 8, 9となる。このとき、 $Q - P = 72 - 20 = 52$ 、 $R = 6 + 7 = 13$ となり、 $Q - P$ の値は、Rの値の4倍となる。

連続する6つの自然数を、小さい方から順に a, b, c, d, e, f とし、

$$P = a \times b$$

$$Q = e \times f$$

$$R = c + d$$

とするとき、 $Q - P$ の値が、Rの値の4倍となることを確かめなさい。

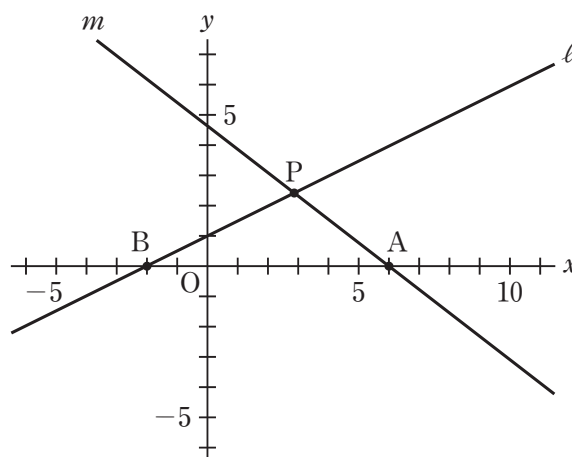
[問2] [先生が作った問題] で、 b, c, d, e, f を、それぞれ最も小さい自然数である a を用いた式で表し、 $Q - P$ の値が、Rの値の4倍となることを証明せよ。

3 右の図1で、点Oは原点、点Aの座標は 図1

(6, 0)であり、直線 l は
一次関数 $y = \frac{1}{2}x + 1$ のグラフを
表している。

点Bは直線 l 上にあり、座標は
(-2, 0)である。

直線 l 上にある点をPとし、
2点A, Pを通る直線を m とする。
次の各問に答えよ。



〔問1〕 点Pの y 座標が -1 のとき、点Pの x 座標を、次のア～エのうちから選び、
記号で答えよ。

ア $\frac{1}{2}$

イ 0

ウ -1

エ -4

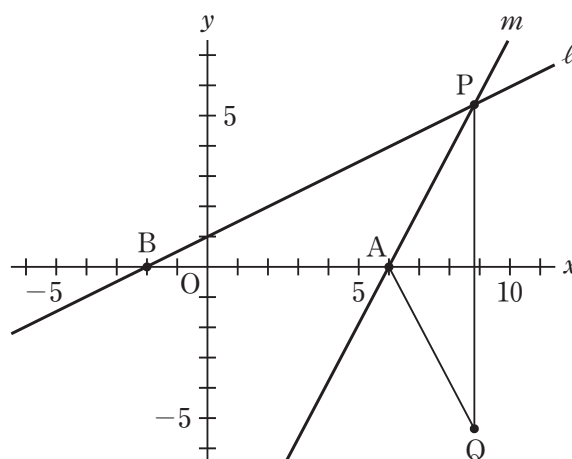
〔問2〕 $AP = BP$ となるときの、直線 m の式を求めよ。

〔問3〕 右の図2は、図1において、

点Pの x 座標が6より大きい数で
あるとき、 x 軸を対称の軸として
点Pと線対称な点をQとし、
点Aと点Q、点Pと点Qを
それぞれ結んだ場合を表している。

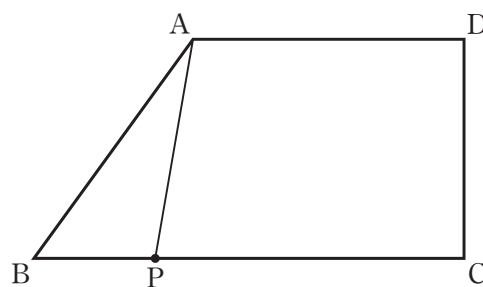
$\triangle APB$ の面積と $\triangle AQP$ の
面積が等しくなるとき、
点Pの座標を求めよ。

図2



- 4 右の図1で、四角形ABCDは、
 $AD \parallel BC$, $AB = AD$, $\angle BCD = 90^\circ$
 の台形である。
 点Pは、辺BC上にある点で、
 頂点B、頂点Cのいずれにも一致しない。
 頂点Aと点Pを結ぶ。
 次の各問に答えよ。

図1



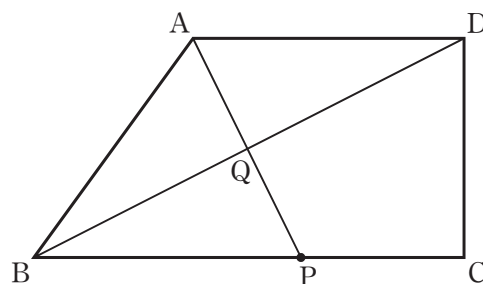
- [問1] 図1において、 $\angle ABC = 54^\circ$, $\angle BAP = a^\circ$ とするとき、
 $\angle DAP$ の大きさを表す式を、次のア～エのうちから選び、記号で答えよ。

ア $(126 - a)$ 度 イ $(144 - a)$ 度 ウ $(a + 54)$ 度 エ $(a + 126)$ 度

- [問2] 右の図2は、図1において、

図2

$AB = BP$ のとき、
 頂点Bと頂点Dを結び、線分APと
 線分BDとの交点をQとした場合を
 表している。
 次の①、②に答えよ。



- ① $\triangle ABQ \sim \triangle DBC$ であることを証明せよ。

- ② 次の□の中の「え」「お」に当てはまる数字をそれぞれ答えよ。

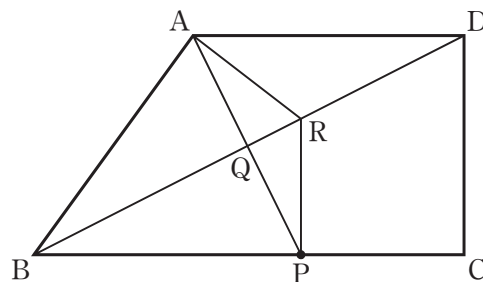
右の図3は、図2において、

図3

点Pを通り、辺BCと垂直に交わる
 直線を引き、線分BDとの交点をR
 とし、頂点Aと点Rを結んだ場合を
 表している。

$AB = 5 \text{ cm}$, $BC = 8 \text{ cm}$ のとき、

$\triangle AQR$ の面積は、 $\frac{\text{え}}{\text{お}} \text{ cm}^2$
 である。



5 右の図1に示した立体A-BCDEは、
底面BCDEが1辺の長さ6 cmの正方形で、
AE = 6 cm, $\angle AEB = \angle AED = 90^\circ$ の
四角すいである。

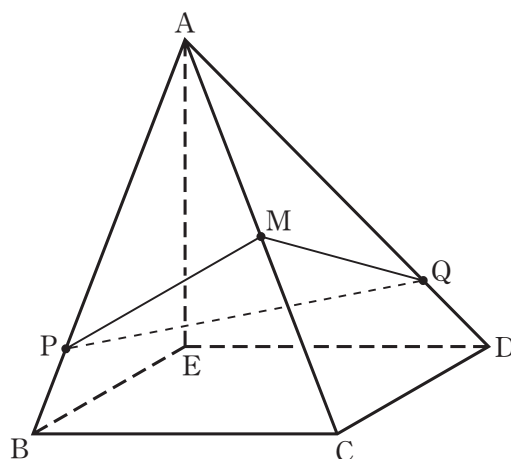
辺ACの中点をMとする。

点P, 点Qは, それぞれ辺AB, 辺AD上に
ある点で, $AP = AQ$ である。

点Mと点P, 点Mと点Q, 点Pと点Qを
それぞれ結ぶ。

次の各問に答えよ。

図1



〔問1〕 次の の中の「か」「き」に当てはまる数字をそれぞれ答えよ。

PM // BC となるとき, $\triangle PMQ$ の内角である $\angle QPM$ の大きさは, 度
である。

〔問2〕 次の の中の「く」「け」に当てはまる数字をそれぞれ答えよ。

右の図2は, 図1において,
頂点Bと頂点D, 頂点Bと点M,
頂点Dと点Mをそれぞれ結んだ
場合を表している。

$AP : PB = 1 : 2$ のとき,
立体M-PBDQの体積は,

cm^3 である。

図2

